

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	HIYOKO MUSIC栗生教室(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 5月 19日		2025年 6月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 5月 19日		2025年 6月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 6月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	見通しのついたプログラムと音楽を活用した音楽療育が強み。	1ヶ月同じプログラムを繰り返し行うことによって、自ら考えて切り替えられるようになるが、飽きてきて活動に参加しづらくなるよう、違うプログラムを入れたり工夫をしながら支援しています。	プログラムの流れもほぼ身についてきているので、次の段階でMCを子どもたちができるよう進めていければと思っています。
2	異年齢同士で切磋琢磨しながら活動を行えるところ。	活動の中で、未就学児と小学生と一緒に活動するため、それぞれに合ったプログラムを提供できるよう進めています。	未就学児と小学生と一緒に活動する中で、未就学児はお兄さんたちのように立派に頑張りたいという気持ち、小学生は、未就学児のお手本となれるようお互いに刺激し合いながら活動できるよう進めて参ります。
3	広々とした療育スペース。	支援室には必要最低限のものだけで、視覚的にもプログラムに集中できるよう余計な掲示物等も張らないように心がけています。	整理整頓を常に心がけ、子どもたちの動線にも意識しながら支援できるよう進めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童館や学校、関係機関や幼稚園などとの交流が図れていない。	プログラムを行うことを優先的に考えてしまい、地域との交流の場を設けることが出来なかった。	近隣の児童館等の活動を把握し、交流の場を広げていけるよう努めて参ります。
2	保護者との交流の場を設けることが出来なかった。	活動の中で、日々の支援に追われてしまい計画しるところまで至らなかった。	次年度は、開催できるよう努めて参ります。
3			